

1 単元名 いろいろな器械・器具を使った運動遊び

2 単元について

(1) 一般的特性

平均台や跳び箱、マットなどを使って、身体を動かす楽しさや身体を動かす快い体験を得られることができる運動である。

(2) 児童から見た特性

①運動を楽しむ体験の状況について

身体を動かすことが好きな児童が多く、休み時間には外に遊びに行き、ボールを使った遊びや鬼遊び、固定遊具での遊びを行っている。また、体育の学習を好み、意欲的に取り組んでいる。

②運動の学び方の状況

話の聞き取りが弱い児童がいる一方、手本を見たり、説明を聞いたり、合図を待ったりすることで、決まりを守って仲よく運動することができる児童が多い。

③技能の習得状況

2年生から6年生までの11名が在籍している。そのため、身体能力や技能の習得状況には大きな差がある。その差を考慮して、2つのコースを用意し、児童に合ったコースで楽しくたくさん運動できるようにする。

3 本学級児童の基礎運動における実態

(1) 基礎運動チェック表における実態考察と本単元の学習内容について

基礎運動チェック表から分かるように、「走る」「跳ぶ」の運動の実態に大きな差が見られる。運動能力が高く、走ること、跳ぶことに関してのほとんど項目を自分でできる児童がいる一方で、一人で走ることには補助が必要な児童や、補助をしないと跳ぶことができない児童もいる。

このように、運動能力や習得状況の差は大きいですが、ほとんどの児童が体育の時間を楽しみにしていて、本単元においても楽しく取り組む姿が見られている。それは、身体を動かすことや友達と一緒に活動することが楽しいと感じていることが理由と考えられる。以上のことを考慮した上で、体育の学習を実践してきた。

「走る」ことに関しては、今まで体育の時間の最初に集団走を取り入れ、実践してきた。始めのうちは、2列に並んだままペースを合わせるということができずに、列からはみ出したり、ペースについていけずに遅れてしまったりしてうまく走れなかったが、次第に体力がついてきて遅れが少なくなり、最後まで走れるようになってきている。また、ペースに合わせて走ることが苦手な児童や足の速い児童もみんなとスピードを合わせて走ることで調整力が身につく、日常生活においても自己中心的な発言や行動が減ったり、我慢ができるようになる場面が増えたりした。集団走の後の1周や2周をダッシュすることにより、意図的に集団に合わせて走る力、自分のペースで思い切り走る力を体感してほしいと願っている。

「跳ぶ」ことに関しては、児童によっては遠くへ跳べたとき、高く跳べたとき、続けて跳べたときなどに楽しいと感じている。しかし、実態に大きな差があることから、どの児童も跳ぶことの楽しさや達成感を味わうことができるように、コースを2つに設定し、児童の実態によって、分けることに

した。そして、様々な器具を活用することで、児童がいろいろな跳び方に挑戦できるようにした。また、1単位時間の中で運動量もしっかり確保できるように、サーキット状のコースに設定した。

マット運動では、これまで連続横転やカエルの足打ちなど、いろいろな運動遊びに取り組んできた。一つの動きをするときには、手本を示したり、手や頭をつく場所に目印を示したり、擬音語などを使ったりして動きを分かりやすいものにし、活動してきた。跳び箱では、高い跳び箱によじのぼったり、跳び下りたり、また、ちょうど良い高さの跳び箱には、両手をついてまたぎ乗り、そのまま前に進んで下りたりする活動をしてきた。これらの運動遊びでは、いろいろな身体の動きをすることができるように、手本を見せたり、写真や絵で示したり、適切な言葉かけを行うことで、新しい動きにも挑戦したり、安心して身体を動かしたりすることができるようになってきた。

また、毎時間の準備や片付けを児童が行うことで、友達と協力して持つことや運ぶことを経験し、集団行動における決まりの定着や事故を未然に防ぐことにもつながることを期待している。学校生活の中では、協調性もなく、危険回避することも難しい児童にとっても、体育の学習の中で、友達と協力することや決まりやルールを守ることが、安全で楽しい活動につながることを体感することをねがっている。そして、児童によっては、技を身に付けたり、新しい技に挑戦したりすることで、楽しさや喜びを味わうことができるように、学習内容を考えたり、活動の工夫をすることも大切だと考えている。

(2) 基礎運動チェック表

○一人でできる ●指示すればできる △少し補助が必要 ▲ほとんど補助する ×できない

名 前	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
	内側、外側コースの別											
	内	内	内	内	外	外	外	外	外	外	内	
走 る	①手を引かれて走る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②一人で走る	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
	③まっすぐ走る	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	
	④ゆるやかなカーブを走る	●	●	△	●	●	○	○	●	○	△	●
	⑤ジグザグ、S字カーブなどの設定されたコースを走る	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●
	⑥全力で走る	●	△	×	△	●	●	●	×	●	×	×
	⑦走り続ける	●	○	▲	△	●	●	●	△	△	△	▲
	⑧折り返しリレーをする	△	△	▲	△	△	●	△	△	●	▲	●
	⑨バトンパスをしてリレーをする	△	△	▲	△	△	●	△	△	●	▲	△
	⑩合図で走ったり止まったりする	○	○	△	△	△	○	●	▲	●	▲	△
跳 ぶ	①両足でその場で上方に跳ぶ	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	②両足で前方に跳ぶ	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	
	③助走をつけ片足で踏み切ってまたぎ跳ぶ(ハードル)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	④助走をつけて両足で踏み切って跳ぶ(跳び箱)	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×
	⑤台、高所から飛び降りる	○	●	▲	▲	○	○	○	○	○	○	×
	⑥動く物(縄)にスピードを合わせて跳ぶ	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×
	⑦片足ケンケン跳びをする	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×

スキップができる	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×
立ち幅跳びの記録	m	1				1	1	1	1	1	
	c m	05	90	40	70	40	12	40	10	40	30

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- いろいろな器械や器具を使った動きに楽しく取り組むことができる。
- 支持、手足での移動、逆さ姿勢、回転など、日常生活では通常行われない動きを身に付けることができる。
- 決まりやルールを守り、友達と仲よく活動することができる。

(2) 学習の道すじ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
0 ↓ 45分	あいさつ・準備体操														
	マットを使って運動しよう			跳び箱を使って運動しよう			高跳びをしよう			マットを使った運動をしよう 高跳びをしよう					
													サーキットをしよう		
45分	後片付け・あいさつ														

5 学習活動と支援 (本時 12 / 15)

	学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (◇)
導 入	1 集合して整列し、挨拶をする。	○整列する場所が分かりやすいように、ラインに沿って、並ぶようにさせる。 ○体育係 (B児) が前に立って、号令するようにさせる。
	2 準備体操をする。 ・体育係が号令をかけ、手本を見せる。	○体育係の隣りに教師が並んで、手本を明確に見せるようにする。(T2) ○準備体操が終わってすぐに、次の指示を出し、速やかに行動できるようにする。(T1)
	3 走る。(集団走、個人走)	○2列に並んで、友達を抜いたり、触ったり、押したりしないことを確認する。(T2) ○3周走ったあと、笛の合図で2周走らせる。2周は、自分のペースで走れるようにする。 ◇集団走では、並んで走ることができる。
	4 歩く。 ・所定の場所に靴を脱ぎ、帽子をとる。 ・ソフト平均台の上を歩く。	○走り終わった児童から、次の行動ができるように指示をする。 ○ソフト平均台の上は、ゆっくりと慎重に歩くように、言葉をかける。 ○2周歩いた児童から順番に、マットの所に集合するように言葉をかける。 ◇平均台から落ちないように、バランスをとりながら歩くことができる。
	5 マットを使って運動する。	○安全のために、手や手首を動かしたり、自分

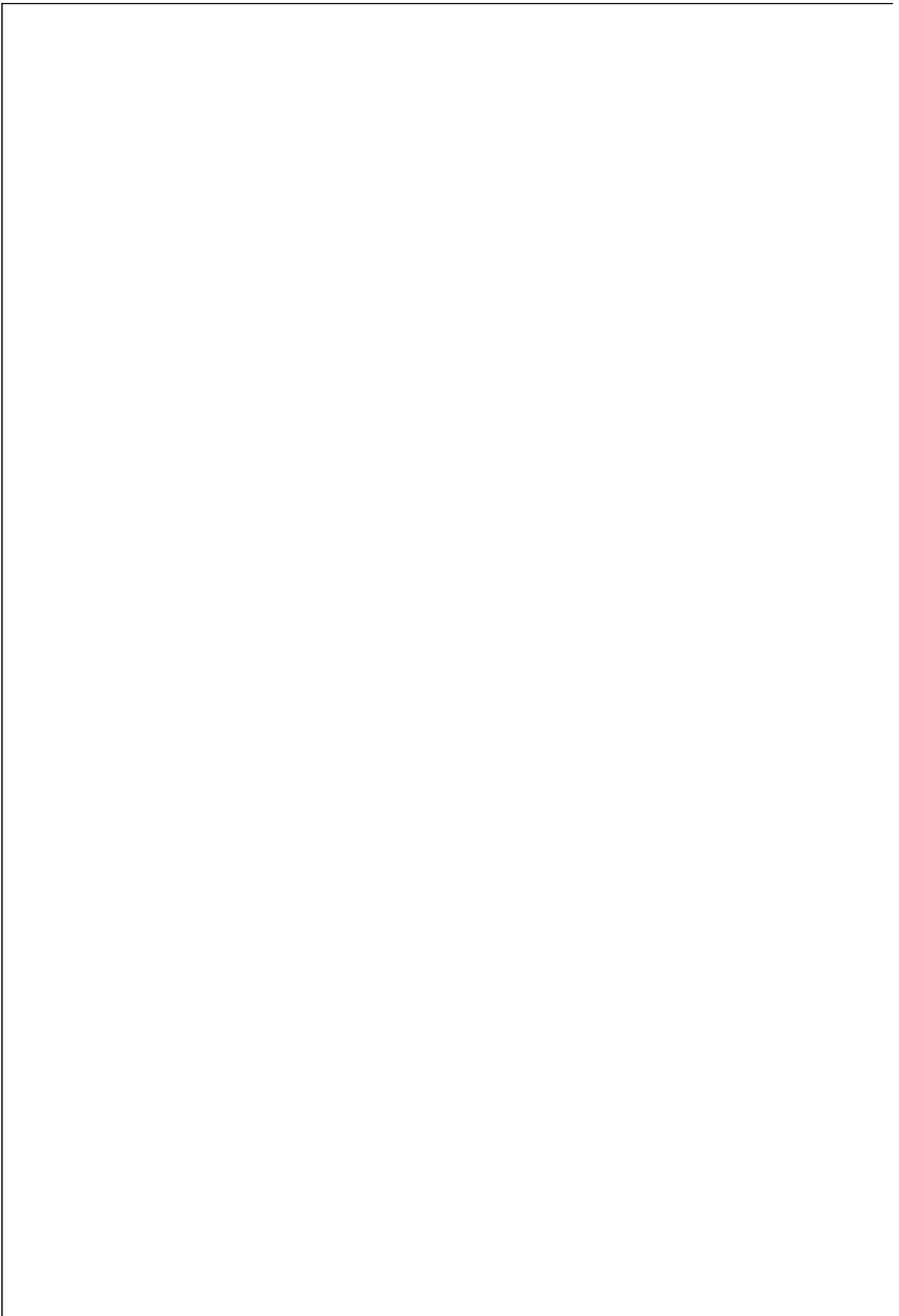
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・首や足首をほぐす。 ・前転、後転をする。 	<p>の手を添えて、首をほぐしたり、足首をゆるめたりすることができるようにする。</p> <p>○前転は、両手をしっかりとつくこと、頭の後方とマットにつくことを身振りで伝えるようにする。</p> <p>○前転では、身体を丸くして回ることを知らせる。</p> <p>○後転では、両手を耳の脇に置いて、勢いをつけて身体を丸めて（体育座りのまま）回ることを知らせる。</p> <p>◇手をつく位置に気をつけて、回ることができる。</p>
	<p>6 準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプをする。 ・足上げをする。 	<p>○2グループに分けて、ぶら下がっているタオルに向かってジャンプするように、手本を見せて伝える。</p> <p>○より高く跳べるように、色を目印にして、ジャンプできるようにさせる。</p> <p>○肋木を使って、足上げをする。より高く足が上がるように、言葉かけをする。</p>
	<p>7 高跳びをする。</p>	<p>○踏み切る足が分かりやすいように目印をつけ、同じ色の目印を床にもつけて、高跳びのやり方がわかるようにする。</p> <p>◇踏み切る足に気を付けて、跳ぶことができる。</p>
	<p>8 サーキットをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段を上る。→カーブを走る。→壇上から飛び降りる。→ハードルを跳ぶ。→高跳びをする。→平均台を両手支持で進む。→跳び箱を跳ぶ。 ・自己評価をする。 	<p>○2グループに分かれて、階段の前に並ぶようにさせる。(T1)</p> <p>○安全に運動できるように、友達を触ったり、押しつけないように、注意する。</p> <p>○児童の様子を見ながら、補助につくようにする。(T2)</p> <p>◇意欲的に活動することができる。</p> <p>○本日、うまくできた場所に、印をつけて次の時間への励みにする。</p>
整 理	<p>9 整理運動をする。</p> <p>10 後片付けをする。</p> <p>11 整列をして挨拶をする。</p>	<p>○大きくゆっくりと、使った筋肉をほぐすようにさせる。</p> <p>○運ぶ物を決めておき、協力して安全に片付けができるようにする。</p> <p>○始めの整列と同じ場所に並ぶようにする。</p>

6 児童の本単元における目標と手立て

	本単元での児童の様子	単元の目標	手立て
--	------------	-------	-----

A	<ul style="list-style-type: none"> 運動には意欲的に取り組むことができる。器具の使い方がわかると、繰り返し活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの器具に合わせた動きをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの器具での身体の動かし方が分かりやすいように、手本を見せたり、足形などの目印をしたりして、目で見て分かるようにする。
B	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具については跳び方や目印を見て跳ぼうとすることができる。それぞれゆっくりと丁寧に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験して、身体の動かし方を覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具での身体の動かし方が分かりやすいように、足形などの目印をして、目で見て分かるようにする。 次の器具へとスムーズに活動できるように、場の工夫をする。
C	<ul style="list-style-type: none"> 運動には意欲的に取り組むことができる。その場に合った跳び方をすることが難しいが、足形などの目印をすることで跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験して、身体の動かし方を覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> その場に合った身体の動かし方ができるように、目印をして目で見て分かるようにする。また、その場に合った擬音語などで言葉かけをして、リズムよく動くことができるようにする。
D	<ul style="list-style-type: none"> どんな動かし方をすれば良いかの経験は少ないが、運動には意欲的に参加することができる。 飛ぶことを怖がることもあるが、飛び方が分かり、励ましにより、いろいろな跳び方に挑戦することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験し、繰り返し活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具での身体の動かし方が分かりやすいように、足形などの目印をして、目で見て分かるようにする。 低い所から飛ぶことを練習し、少しずつ高さを変えていくようにする。また、擬音語などで励ましたり、誉めたりするようにする。
E	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具については跳び方の手本や目印を見て跳ぼうとすることができる。その場の活動に集中できず、止まってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験して、身体の動かし方を覚え繰り返し活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具での身体の動かし方が分かりやすいように、足形などの目印をして、目で見て分かるようにする。 繰り返し活動することができるように、場の工夫をして次の行動に移りやすくする。
F	<ul style="list-style-type: none"> 運動には意欲的に取り組むことができる。目印などを見て、その場に合った動きをすることができるが、急いで活動しようとして間違えることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの器具に合わせた動きをすることができる。 ○落ち着いて活動し安全に気を付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> その場に合わせた身体の動かし方ができるように、目印をして、目で見て分かりやすくする。 その場に合わせることで、落ち着いて活動することができるようにする。
G	<ul style="list-style-type: none"> その場に合った動かし方やどんな動かし方をすれば良いかの経験は少ないが、運動には好んで活動することができる。急いで活動しようとして間違えた動きをすることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験し、繰り返し活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> その場に合わせた身体の動かし方ができるように、目印をして、目で見て分かるようにする。 ときどき言葉をかけて、活動を見直したり誉めたりすることで、落ち着いて活動することができるようにする。
H	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間も自分からは外に 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの器具に合わせた動きが

	<p>行かないこともあるが、誘われて外に出ると、友達と楽しく過ごすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすことは苦手だが、励ましの言葉や友達と一緒に活動することで繰り返し活動することができる。 	<p>を体験し、繰り返し活動することができる。</p>	<p>できるように、目印をして、目で見て分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときどき言葉をかけて、活動していることを誉めたり、身体の動かし方を誉めたりする。
I	<ul style="list-style-type: none"> ・その場に合った動かし方ではなく、自分なりの判断で活動してしまうことが多い。 ・運動には意欲的に取り組むことができるが、一番になることにこだわりがあり、友達とトラブルになることも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの器具に合わせて動きを覚えることができる。 ○安全に気を付けて活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その場に合わせて、擬音語をまぜながら説明をして、手本を分かりやすく見せたり、目印をして目で見て分かりやすくする。 ・その場に合わせて順番を決めたりすることで、安全に活動することができるようにする。
J	<ul style="list-style-type: none"> ・その場に合った身体の動かし方をすることは難しいが、足形などの目印をすることで跳ぶことができる。 ・分かりやすくコースをついたり、場を工夫したりすることで繰り返し活動することができる。 	<p>○いろいろな跳び方を体験し、身体の使い方を覚え、繰り返し活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの器具での身体の動かし方が分かりやすいように、手を置く場所や足の向きなどの目印をして、目で見て分かるようにする。 ・繰り返し活動することができるように、器具の方向や順番など、場の工夫をして次の行動に移りやすくする。
K	<ul style="list-style-type: none"> ・逆さ姿勢や回転することを怖がっていたが、目印や補助により身体の動かし方がわかると、挑戦することができる。 ・走るときは、友達と一緒に走るということが難しく、歩いてしまったりしゃべってしまったりすることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな跳び方を体験し、繰り返し活動することができる。 ○最後まで、友達と一緒に走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの器具での身体の動かし方が分かるように、目印をして目で見て分かりやすくする。 ・ときどき言葉をかけて、身体の動きを伝えたり、活動していることを誉めたりする。



場面配置図

